

公表

## 放課後等ディサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすく塾 新保		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 22日		令和7年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 18日		令和7年 4月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の支援時間内、完全個別対応の時間を確保しています。部屋も独立した構造になっていて、集中できる環境になっています。	学習に対する抵抗感を独自の支援方針で、「出来る」「やりたい」に変え、お子様の意欲を引き出し、学年に関係なく、お子様の習熟度に合わせた学習を進めています。	完全個別支援の為、オンリーワンの支援内容を実現しています。例えば、「新たな進学先へ実際の公共交通機関を利用して通学路や周辺の状況の確認をする。」「公園で自転車に乗る習得をする。」「担当指導員と保護者様と、お子様で研修会に参加する。」他
2	保育士、児童支援員、社会福祉士、作業療法士、教員免許等の多種多様な専門の職員構成になっており、それぞれの専門性を生かして、チームで支援を行っています。	事業所内での研修や、外部研修会へ積極的に参加し職員の資質の向上を目指しています。	AIを導入し、脳科学から導き出されたアセスメントにより、5領域のうち必要な課題を的確な内容で支援に生かしています。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の建物の構造が、2階に建てた為、個室化されているので、運動や人数が多いと1部屋に集まりにくいです。	運動面では、省スペースでも活動できる内容の物を選んだり、近くに広くて安全な公園があるので、公園を利用しているのびのびと遊べる様にしています。	構造を変えることは難しいので、ねらいと効果を考えながら、狭いスペースでいかに実現するかを工夫しています。
2	地域との交流の場が持ちにくいです。	遠方や地域以外からお越しになっているご家庭がほとんどである為、ご要望がないです。	
3			